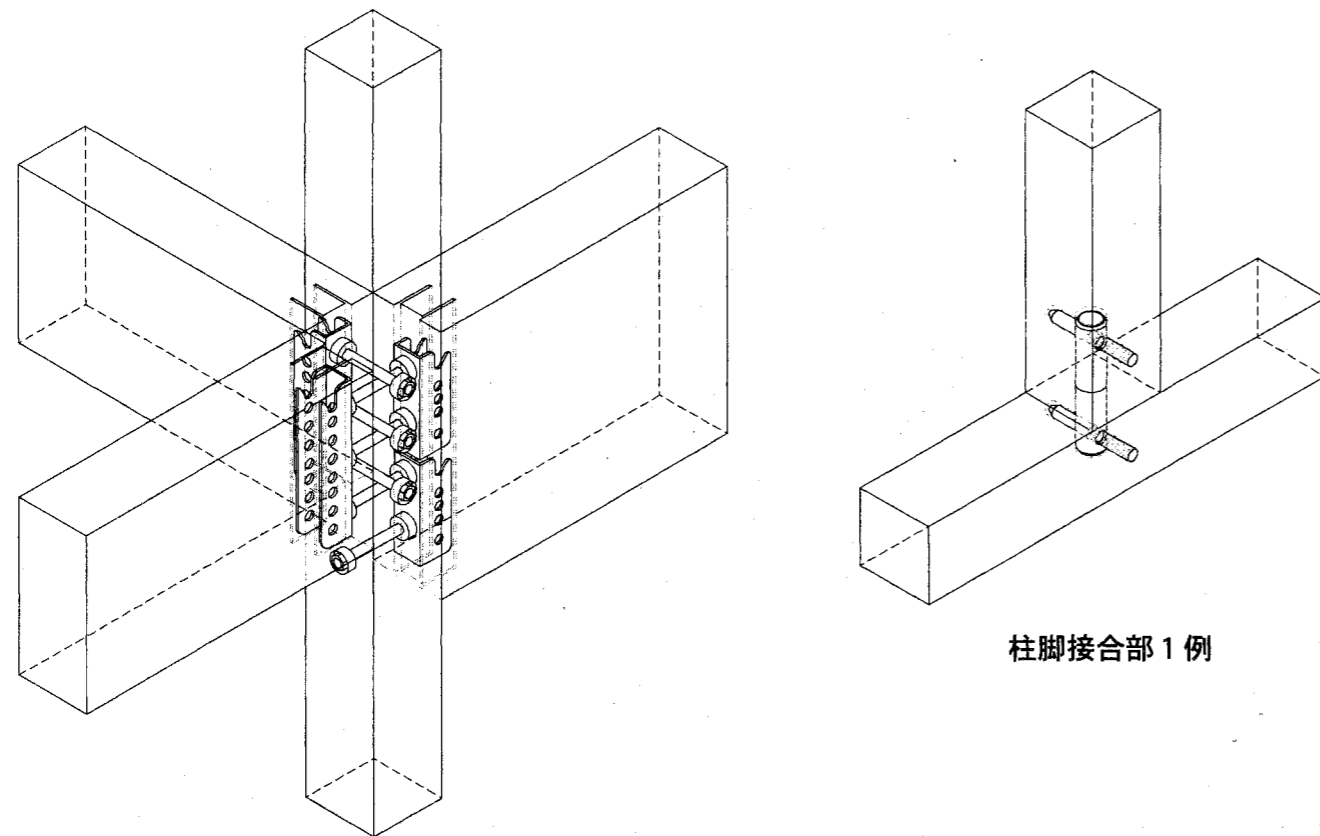
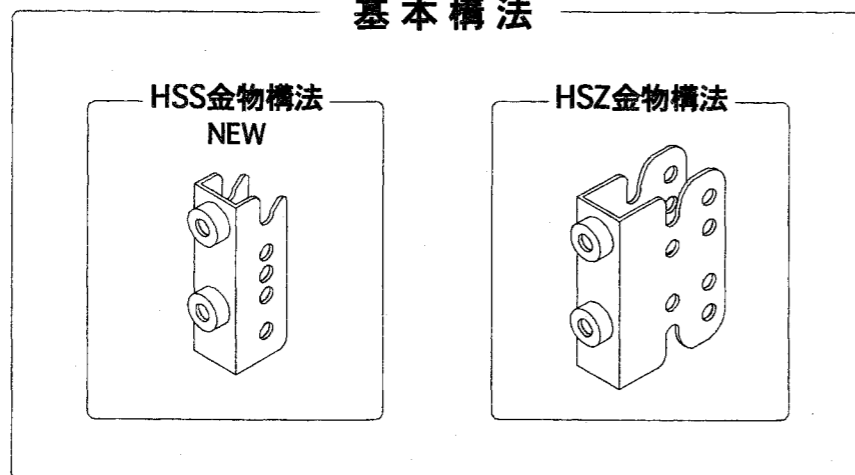


従来の木造構法では、接合部の仕口加工による断面欠損が耐震化を図る上で大きな弱点となっていました。特に通し柱での断面欠損が大きく、過去の大地震にもこの部分で曲げ破壊が発生し建物が倒壊する事例が多く見られました。一方、HSフレームシステムの仕口は断面欠損が小さいので耐震化を図ることが可能になります。また、HSフレームシステムは熟練した技術がなくても簡単に精度良く施工することができ、工期を短縮することも出来ます。

現在、基本構法はHSZ金物構法とそのバージョンアップ版であるHSS金物構法の2種類を用意しております。各々の構法の特徴は1-4「構法の特徴」を参照してください。

基本構法



柱脚接合部 1例

オプション構法を基本構法と組み合わせて使用することで設計の自由度が広がり、今までは難しくかった木造建築物を簡単に計画することが出来ます。現在のところ門型ラーメン構法がこのオプション構法に該当します。施工性も高く、簡単かつ低コストで木質門型ラーメン構法を実現することが出来ます。

